

佐藤繁彦（しげひこ） キリスト教神學者、文學博士。明治二十年九月二十
四年福島縣若松市生れ、昭和十年四月十六日没（八七歳）（九三）。明治
四十年第一高等學校入學、二谷隆正、石田三治、岡上守道（黒田禮）（
等と親交。また海老名輝正（ひより）受洗、輝正と校長新渡戸稻造からは
多くの感化を受けた。四十二年東京帝國大學に入ると、同年中京都帝
國大學と文科大學に轉じ、大正二十二年卒業。尋常七年まで東京帝大大學院
に在籍、この間植村正久に師事し、海道を研鑽。その後牧師となり朝
鮮、熊本に赴任。十一年ドイツ留學、傍らマルチン・ルマー文獻と
涉獵、英米を経、十二年歸朝。翌年ルッター研究會を興じ、月刊「ル
ッター研究」のち「新約と新教」と改題し創刊。同年新設の日本ル
ーテル神學專門學校教授となる。

譯書に、ウヰリアム・ジエームス著「宗教的體驗の種々」（佐久間鼎
共譯、大正三年五月二十五日星文館）、「全き生活—テオロギア・ゲ
ルマニカ」（大正五年一月十五日星文館）、「宗教生活と近世—テオ
ロギア・ゲルマニカ」（大正十一年十月二十日近代名著文庫刊行會
「近代名著文庫」）、アドルフ・ハアツク編「全オースチン」（大
正十一年七月八日叢文閣）、「フランクフルター」（昭和二年四月一
日ルッター研究會）、「ルッター文庫」（第一篇「卓上語録」昭和四
年四月十日、第二篇「主の祈りと善きわざ」五年四月二十日ルッター
研究會）等がある。『若きルーテル』（大正七年一月十日警覺社書
店）、『一粒の麥』（大正九年十一月十八日警覺社書店）、『體驗宗
教の研究—カンナ、シユナイエル、マツハー、ルッターの宗教』（大正
十三年十一月十八日改造社）、『聖サンダレ・シンダレ』（大正十四年

五月二十日イデア書院「イデア叢書」の「宗教巡禮」(大正十四年九月)日ルッター研究会)等々著はす。池水春生編「佐藤繁彦信仰文集」(昭和二十八年九月十日聖文舎)刊。

